

## 『JVA 2012 年年間統計調査結果』について

当協会は、3月13日(水)午後1時30分から、協会会議室において『JVA 2012 年年間統計調査結果』についての記者発表会を開催しました。

以下に記者発表された報告の中から抜粋して2012年の統計調査結果についてご報告いたします。

なお、本調査の結果は『日本映像ソフト協会統計調査報告書 Vol.75』として冊子にまとめられ、一般の方にも有料にて頒布しております。

本件のお問い合わせにつきましては、広報課上田(03-3542-4433)まで、または、協会ホームページの「お問い合わせ」にアクセスしてください。

以 上

## 2012 年（1月～12月）の実績について

1. 2012年のビデオソフトの総売上は2584億5600万円で前年比99.0%、売上数量では8470万4580枚で同102.8%となった。

ビデオソフトの総売上金額をメディア別に見てみると、DVDビデオが1868億9200万円で前年比93.2%（構成比72.3%）と前年を割り込む一方で、ブルーレイが715億6400万円で前年比118.2%と伸長し、構成比も27.7%を占めるまでに拡大してきているが、DVDビデオの落ち込みをカバーするまでには至らなかった。

2. ビデオソフト全体の売上金額を流通チャネル別に見てみると、「販売用」「レンタル店用」「業務用」のそれぞれの割合は、70.7：28.8：0.5 となり、「販売用」の比率がやや増してきている（前年の比率は69.2：30.3：0.5）。

数量においては、「販売用」「レンタル店用」「業務用」のそれぞれの割合は、59.4：40.1：0.5 となり、金額とは異なり「レンタル店用」の比率が増してきている（前年の比率は63.1：36.1：0.8）。

3. 「販売用」全体の売上金額は1827億600万円で前年比101.1%となり、2年ぶりに前年を上回ることとなった。「販売用」の全体金額におけるDVDビデオとブルーレイの割合は63.0:37.0となり、ブルーレイの割合が4割近くまでに増大してきている。「販売用」DVDの売上金額の前年比が93.6%であったのに対し、「販売用」ブルーレイは同117.4%と伸長しており、DVDの落ち込みをカバーする形となった。

4. ビデオソフト全体の「販売用」の売上金額をジャンル別に見てみると、構成比1位は29.1%を占める『日本のアニメーション（一般向け）』だったが、前年比は99.6%とわずかに前年を割込んだ。一方、構成比27.6%で『日本のアニメーション（一般向け）』に迫る勢いの『音楽（邦楽）』は前年比125.6%と大きく伸長した。構成比3位（12.4%）の『洋画』は前年比90.5%と前年割れしたが、構成比が同率4位（5.7%）の『日本のTVドラマ』は前年比117.4%、『芸能・趣味・教養』も前年比112.3%と伸長した。前年ほど大きなタイトルに恵まれなかった『邦画』は前年比75.1%と減少し、構成比を4位から6位に落とした。

数量における構成比はかならずしも金額と一致せず、1位（構成比26.7%）は『洋画』、2位（同22.6%）は『音楽（邦楽）』、3位（同20.0%）に『日本のアニメーション（一般向け）』の順となる。

また、売上金額に占めるブルーレイの割合をジャンル毎に見てみると、『日本のアニメーション（一般向け）』は前年の58.2%→68.1%に、『音楽（邦楽）』は11.8%→16.7%、『洋画』は47.5%→52.5%、『邦画』も26.0%→32.4%に上昇してきている。

5. DVDビデオ全体の売上金額のうち「販売用」は61.6%を占め1151億2600万円で、前年比93.6%となった。売上金額をジャンル別に見てみると、構成比1位は『音楽（邦楽）』となり、構成比36.4%を占め、前年比118.6%と伸長した。しかし2位（構成比14.7%）の『日本のアニメーション（一般向け）』が前年比75.8%、3位（構成比9.4%）の『洋画』も前年比81.8%、4位（構成比8.4%）の『芸能・趣味・教養』は前年比109.7%と伸長したが、続く『日本のTVドラマ』が同99.0%、『邦画』が同68.6%となるなど、『音楽（邦楽）』のみの好調が目立ち、そのほかの主だったジャンルは前年割れとなった。

6. ブルーレイ全体の売上金額のうち「販売用」は94.4%を占め675億8000万円で、前年比117.4%となった。ブルーレイの「販売用」の売上金額をジャンル別に見てみると、半分以上の53.6%を『日本のアニメーション（一般向け）』が占めている（前年比116.7%）。続いて『洋画』が17.6%を占めて2位（前年比100.1%）、『音楽（邦楽）』が前年比178.1%と大きく伸長し、構成比3位で12.5%を占めるまでとなった。『邦画』の構成比は4.2%で前年比93.4%と前年割れしたが、『日本のTVドラマ』が前年比258.5%と伸長し構成比3.9%となった。

7. ビデオソフト全体の「レンタル店用」の売上金額は、745億1200万円で前年比94.1%となった。そのうち、ブルーレイの割合は5.3%にとどまり、ブルーレイのレンタル店用の出荷が伸び悩んでいる。また、全体の売上金額が前年を割り込んでいる一方で、数量は前年比114.1%と二桁の伸長となっており、レベニューシェアリング方式の一層の普及と、1枚当たりの単価の低下がうかがえる。

8. DVDビデオの「レンタル店用」売上金額は705億6100万円で前年比92.5%となった。

DVDビデオの「レンタル店用」の売上金額をジャンル別に見てみると、『洋画』が構成比1位(19.3%)で前年比100.2%と前年並みとなったものの、2位(構成比18.6%)の『日本のアニメーション(一般向け)』が前年比90.7%、同率で3位(同13.3%)の『邦画』が前年比72.6%、『海外のTVドラマ』も前年比86.5%と割り込んだ。構成比5位(12.6%)の『アジアのTVドラマ』は前年比103.0%と伸長した。

数量における構成では、レベニューシェアリングシステムの導入率が高い『アジアのTVドラマ』が構成比24.0%を占め1位、前年比も146.8%と大きく伸長した。2位(構成比22.6%)の『洋画』も前年比118.9%、3位(同18.9%)の『海外のTVドラマ』も前年比101.1%と伸長した。この上位3つのジャンルで数量全体の65.5%を占めることとなった。

以 上